

2019年4月18日

各位

会社名 信和株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 博
(コード番号：3447 東証・名証 市場第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 平澤 光良
(TEL. 0584-66-4436)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すコーポレートガバナンス強化の一環として、各事業年度毎に取締役会全体の実効性等の分析・評価を行い、その改善に向けた継続的な施策推進に取り組んでおります。

この度、第5期（自2018年4月1日 至2019年3月31日）について取締役会の実効性評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

(1) 評価のプロセス

取締役会事務局が主体となって取締役会の実効性に関する調査を実施しました。その集計結果をもとに、取締役会において取締役会の実効性等の分析及び評価を行い、改善に向けた施策を決定いたしました。

(2) 評価の方法

①アンケート調査の実施

取締役会メンバーである取締役（監査等委員である取締役を含む）を対象として、以下の評価カテゴリ毎に複数の項目からなるアンケート用紙を配布し、回答を得ました。

対象者	取締役
回答方式	無記名方式
評価のカテゴリ	<ul style="list-style-type: none">・取締役会の構成に関して・取締役会の運営に関して・取締役会の議案に関して・取締役会を支える体制に関して
結果の集計	アンケートの結果は、取締役会事務局が集計し、取締役インタビューに利用した他、取締役会において実効性等の分析及び評価に活用しました。

②取締役会での議論と改善に向けた取り組みの決定

アンケートの集計結果、取締役インタビューの結果を取締役会事務局でとりまとめ、取締役会の運営について実効性が高いと評価される点、改善・充実に向けた取り組みが期待される点を整理し、取締役会に答申しました。

この答申を受け、取締役会の一層の機能強化と実効性向上に向けた課題を抽出し、改善・充実のための取り組みを決定いたしました。

(3) 第5期の評価結果の概要

アンケート調査及び取締役インタビューの結果、取締役会は全体として「概ね適切」に運営され、「実効性は確保されている」と評価しております。

一方、以下の点については更なる改善を期待する建設的な意見もありました。

- 取締役会に提出される資料の配布時期や資料内容についての改善
- 後継者育成計画、役員報酬及び役員選任に関する議論の深耕
- 中期経営計画や適切なリスクテイク、リスク管理体制に関する議論の深耕

(4) 今後の取り組み

当社取締役会は、取締役会評価において認識された課題について、さらなる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

なお、取締役会の実効性評価につきましては、今後、継続的に実施し、評価の枠組みや評価手法の更なる改善に向けても検討を進めてまいります。

以上